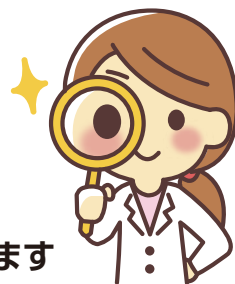


1年に1回は 歯科検診を受けましょう

虫歯も歯周病も早期発見、早期治療が大切！

当健保組合では、口腔歯科検診と歯周病リスク検診を実施しています



自分の歯で噛むことは生きる力に直結しており、全身の健康にも大きな影響があると言われています。厚生労働省や日本歯科医師会は、ただ長生きするだけでなく、健康で満足度の高い人生を送るために、8020運動(80歳で20本の歯を保つことを目標とした歯の健康づくり運動)を推奨しています。

しかし、60歳代で半分(14本)の歯を失い、80歳代では約半数の人がすべての歯を失っているという現状があります。

歯を失う 原因は？

歯を失う原因は、進行した歯周病や虫歯の放置、口腔内を不潔にしていること、喫煙が挙げられます。これらは、定期的な歯石除去や歯面清掃、歯科検診による早期治療で防ぐことが可能です。

定期的な歯科検診と 早期治療が予防の決め手！

歯科疾患は自覚症状があまりないため、ある程度進行しないと気が付きません。定期的に歯科検診を受診して、早めに治療を受ける習慣を身に付けましょう。

虫歯や歯周病の原因となる歯垢と歯石の違いを簡単に言うと、上手に歯磨きすれば取り除けるのが歯垢で、歯磨きだけでは取り除けないのが歯石です。歯石は歯垢が硬くなったもので、磨き残した歯垢が、唾液の中のミネラルと結合してできます。歯についた歯垢は、たった2日で歯石になります。これらの疾患を予防し、歯を失わないためには、自己管理に加えて、専門家による歯石除去や歯面清掃、予防処置を併せて行うことがとても重要です。



禁煙も大切

近年では、喫煙者が歯周病にかかりやすく、治療しても治りにくいことがわかっていきます。特に進行した歯周病になっている方は、まず禁煙を実行しましょう。



当健保組合が実施している口腔検診

口腔歯科検診(集団)・実施内容

検診対象者	被保険者 ※一部事業所(希望者)
検診項目	●虫歯や歯周病(CPIスコア)の検査 ●検査後のブラッシング指導や健康相談
実施方法	検診業者が事業所へ来て行う巡回健診で実施しています。
検診費用	全額を健保組合が負担します。
検診機関	一般社団法人総合健康促進保健協会関西 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-2-11 TEL 06-4806-1022

歯周病リスク検診(郵送式)・実施内容

検診対象者	20歳以上の被保険者・被扶養者(隔年で対象者変更)のうち、過去1年間歯科医での受診歴がない方
実施方法	自分で採取した唾液を検査機関に郵送して行う検診です。採取した唾液中の血液反応(ヘモグロビン)を測定することで、歯周病の進行度合いを判定します。
実施手順	対象者に受診案内が送付されます。その案内を受診後に検診機関に申し込むことで検査キットが送付されてきます。
検診費用	全額を健保組合が負担します。
検査機関	メスブ細胞検査研究所 〒604-0827 京都市中京区高倉通 二条下る瓦町550 TEL 075-231-2230

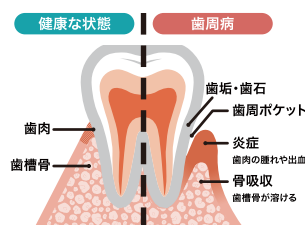
詳細につきましては、当健保組合のホームページをご覧ください。▶



食から始める疾病予防

歯と歯ぐきを 丈夫に保って 歯周病を防ぐ

歯周病は、細菌(歯周病菌)の感染によって引き起こされ、歯ぐき(歯肉)の炎症や、歯を支える骨(歯槽骨)が溶けてしまう病気で、20歳代の約2~3割が、高齢者になると5割~6割が歯周病に感染していると言われています。歯の磨き残しなどで歯周ポケットに歯垢(プラーク)が溜まることにより、多くの細菌が停滞し歯肉が腫れたり出血したりしますが、痛みはほとんどないため、進行すると歯を失うこともあります。歯周病の発症や悪化を防ぐためには、歯や歯ぐきを丈夫に保つ食べ物摂ることも大切で、新型コロナウイルスの感染リスクを減らすことにも役立ちます。



詳しくは
WEBで▶

